

# 活動性認定でも審査

## 敦賀原発など断層で規制委確認

原子力規制委員会は3日、発電敦賀原発など6原発で実  
定例会合を開き、日本原子力 施中の敷地内断層調査で、断

層の活動性があると認定され  
た場合でも、再稼働の前提と  
なる審査申請を受け付け、合  
否を決定する方針を確認した。

田中俊一委員長はこれまで  
の記者会見で同様の見解を示  
しているが、敦賀原発2号機  
直下の断層を「地盤をずらす  
可能性のある断層(活断層)」  
と認定する評価書案が11月に  
まとまったことなどを受け、  
断層調査と審査の関係を明確  
にした。

規制委は、石渡明委員と、  
日本活断層学会など4学会か  
ら推薦を受けた有識者で調査  
団を編成。調査で一定の方向  
性が出るまでは本格的な審査  
に入らない。

規制委は今後、調査結果に  
ついて有識者の評価が分かれ  
た場合、その内容を明記して  
評価書をまとめるほか、審査  
開始後に事業者から追加調査  
結果など新たな知見の提出が

あれば、審査で内容を確認す  
るとしている。

断層の活動性が認定された  
敦賀原発2号機の再稼働は困  
難な状況になっている。